

平成23年第2回（3月）宮若市議会定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	備考
1. 中島 健三	1. 市長就任から5年間の成果と「公平・公正・透明・廉潔」の政治信条は守られたのかを尋ねます。	(1) 就任後5年間で市長自身が最も誇れる事業成果を1つあげるなら何ですか。 (2) 就任後5年間市長が反省すべきことを1つあげるなら何ですか。 (3) これからどのような「まちづくり」を目指しますか。	
	2. ごみ減量化に対する宮若市の方針とごみ固形化燃料（RDF）事業の現状と今後の方向を尋ねます。	(1) RDF事業の現状を教えて欲しい。 (2) ごみを減らす市の方針と、ごみを増やし加工して電源として活かす方法は矛盾しているが。 (3) 今後財政的な圧迫が予測できるが、どう対処するのか。	
2. 和田 善久	1. 施政方針について。	(1) 市営住宅長寿命化計画について。 (2) 商業の振興について。 (3) 老人福祉計画について。	
3. 浜崎 稔哉	1. 財政について。	(1) 平成21年度決算で、経常収支比率が103.2%と非常に硬直した状態であることを受けて、将来的な財政運営方針を伺います。	
4. 中尾ハギ子	1. 環境保全について。	(1) RDF事業の現状。 (2) RDF事業の今後の取組みと計画について。 (3) ごみ事業は2018年以降どうするのか。	
5. 弓削田 敬	1. 高齢者の生きがい対策について。	(1) 老人農園が廃止されるが、今後の高齢者の生きがい対策をどう考えているか。 (2) 生きがい対策を充実させ、医療費を抑制させたいと思うが、そのための施策を問う。	
	2. 宮若ブランドのさらなる活用について。	(1) 追い出し猫のさらなる活用について問う。	

6. 安永 友則	1. 道路整備について問う。	(1) マスタープランに基づく整備状況について。 (2) 幹線道路の整備について問う。 (3) 生活道路の現状把握と整備状況は。 (4) 今後の計画、見通しは。	
7. 吉野 英史	1. 国土調査について。	(1) 調査の中長期の計画を問う。 (2) 後世に残る有利な社会資本整備であり、土地改良などで地域の実情に詳しい人が健在なうちにスピード感をもって取組めないか。 (3) 調査の促進を図るため、外注は考えられないか。	
8. 茅野 勝	1. スマートインター市道部の工事委託料について問う。	(1) 工事費の精算はどうなっているのか。	
	2. 龍伸砕石場の防災工事について問う。	(1) 龍伸砕石場が操業を始めたときから今日までの経過を尋ねる。 (2) 市の防災工事の責任と今後の防災工事の予定。	
	3. 工事発注の評価制度と検査体制について。	(1) 平成 22 年度の工事の中で評価制度で発注した工事と審査方法。 (2) 市発注工事検査体制と検査方法はどうか。 (3) 火葬場建設現場の管理監督は出来ているのか。	
9. 大島 和武	1. インフラ整備のメリット・デメリットについて。	(1) インフラ整備でのメリットは域内の経済活動の活性化と人口の増加にあるが、人口増加の見込みはあるのか。飯塚市が婚活支援イベントを実施し、9組のカップルを誕生させている。人口減少の歯止めには行政の本気度を感じるが、宮若市では何か取組を考えているか。 (2) デメリットでは経済活性化と人口増加が見込めない場合、とりわけ子や孫の未来に多大な借金を負わせる事になるが。トヨタ	

		<p>の従業員は宗像での定住で、宗像にはメリット・宮若にはデメリットばかりかと思うが。</p>	
	<p>2. 入札改革と行財政改革について。</p>	<p>(1) 評価方式は市長の意思、又議員全員の決議書すなわち市民の決意であります。にもかかわらず、昨年の入札結果を知り納得できません。行政には議員の決議はそんなに軽いものか、二元代表制を本当に理解しているのか、入札改革は行政指導では困難でも政治指導なら簡単にできます。世論は地方議会をなれあい議会・議会無用論と酷評されています。今の行政を考えれば、そういう問題定義になるかなと思います。ならば、市長、議員定数削減案を提出したらどうですか。私も職員削減・給料削減案を提出する用意があります。共に痛みを伴う改革ですので、政治指導で行財政改革の議論ができると思うが。</p> <p>(2) たたき台で「うきは市」はいかがですか。宮若市より 1,000 人程度人口が多いにも関わらず、職員の数 255 名、議員定数 16 名。この数を目標として議論を。</p>	
<p>10. 松尾 幸主</p>	<p>1. 地方で生き残る産業創出の具体的な施策について。</p>	<p>(1) 本市の基幹産業である「農業」で勝ち残れる品目を産み出す会議体を作ってはどうか。</p> <p>(2) 「道の駅」は外見ではなく、内容重視で協議すべき。</p> <p>(3) 地域主権で生き残るための農業振興を具体的に進めていくべき。</p>	